

第7部 創造性と豊かさをひろげる生涯学習・文化のまちをつくる

第7部 第1 生涯学習の推進

1 生涯学習活動

I 基本的な考え方

● これまでの取り組みと課題

これまで「みたか生涯学習プラン 2010」を推進するため、生涯学習情報システムのリニューアル、生涯学習事業をまとめた「みたか生涯学習事業情報」の発行、三鷹ネットワーク大学推進機構との民学産公による協働の取り組み、学校施設開放事業や市内大学等との連携による市民講座の実施、地域SNS家庭教育支援コミュニティサイト「かきしぶ」による家庭教育の支援など多様な取り組みを行ってきました。そのような中、新たな生涯学習プランの作成に向け、「生涯学習についての市民意向調査」を実施するとともに、社会教育委員会議から「これからの生涯学習がめざすもの～生涯学習計画改定に向けての意見～」を受け、生涯学習計画推進会議を開催し、「生涯学習プラン 2022(仮称)」の方向性について検討を行ってきました。

今後は、核家族化、少子・高齢化が進み、地域コミュニティの重要性が叫ばれる中、学校・家庭・地域が一体となって地域教育力の向上に努め、コミュニティの創生を図るとともに、新たな生涯学習施設となる「新川防災公園・多機能複合施設(仮称)」の整備に伴い、その施設の機能を活かした事業展開の検討が課題となっています。

● 施策の方向性

「生涯学習プラン 2022(仮称)」に基づき、「ともに学び、学びを活かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会をつくる」ための学習環境を整備するとともに、個人の学習成果を地域社会に還元する「学びの循環」による持続可能な社会の構築をめざしていきます。そのため、地域における人財の育成及び活用に努めるとともに、学校・家庭・地域が一体となって地域教育力の向上を進めていく環境を整え、コミュニティの創生を図ります。

また、社会教育会館が新川防災公園・多機能複合施設(仮称)に移転されることに伴い、スポーツ・福祉・健康など様々な分野での人的交流が予想されることから、生涯学習についても新たな事業が展開されることになり、生涯学習活動の一層の推進を図ります。

さらに、まちのシンクタンクとしての役割を担う三鷹ネットワーク大学推進機構との協働を進めるなかで、教育・研究機関等の知的資源が地域社会に還元されるよう、高度な生涯学習の機会の提供を進めます。

II まちづくり指標

行政指標	計画策定時の状況 (平成 22 年)	前期目標値 (平成 26 年)	中期目標値 (平成 30 年)	目標値 (平成 34 年)
生涯学習情報システムへのアクセス件数	764,635 件	780,000 件	800,000 件	820,000 件

生涯学習情報システムへのアクセス件数により生涯学習情報システムの活用度を示す指標です。生涯学習情報システムへの掲載情報の充実、申込み可能講座の拡充などにより、生涯学習情報システムを利用する市民の数の増加に取り組んでいきます。

協働指標	計画策定時の状況 (平成 22 年)	前期目標値 (平成 26 年)	中期目標値 (平成 30 年)	目標値 (平成 34 年)
生涯学習活動への参加者数	187,045 人	200,000 人	210,000 人	220,000 人

社会教育会館の市民大学や住民協議会との連携事業や学校施設開放など多様な生涯学習活動の機会の提供等により生涯学習活動への参加者数を増やし、生涯学習活動を推進していきます。

協働指標	計画策定時の状況 (平成 22 年)	前期目標値 (平成 26 年)	中期目標値 (平成 30 年)	目標値 (平成 34 年)
三鷹ネットワーク大学推進機構の講座申込者数	11,256 人	12,000 人	13,000 人	14,000 人

三鷹ネットワーク大学推進機構で提供する講座の充実を図り、教育・研究機関等の知的資源が地域社会に還

元されるよう、高度な生涯学習の機会の提供を進めます。

Ⅲ 施策展開における協働と役割分担

- 市民、事業者・関係団体等の役割
 - ・市民、事業者、関係団体は、自らが生涯学習の推進の担い手としての役割を果たします。
 - ・市民は、自ら積極的に学習するとともに、学習成果を地域社会に還元することに努めます。
 - ・学校、保護者、地域住民や団体、事業者は、学校を拠点として学び合い、つながりを深め、さらなる地域力の向上に努めます。
 - ・学校、保護者、地域住民や団体、事業者は、子どもたちの健やかな成長のために地域全体で支援することに努めます。
 - ・三鷹ネットワーク大学は、民学産公の協働の取り組みを進め、教育・研究機関等の知的資源を地域社会に提供していきます。
- 市の役割
 - ・市は、市民ニーズの把握とともに、学習情報の提供や学習に関する相談体制の充実に努め、あらゆる市民が年齢や性別に関わらず、各々のライフスタイルやライフステージに応じて、「いつでも、どこでも、だれでも、そしていつまでも」学べる環境整備を行います。
 - ・市は、新たな生涯学習の拠点である新川防災公園・多機能複合施設(仮称)や、南部図書館(仮称)、三鷹ネットワーク大学をはじめとした、公営・民営のさまざまな学習の場で、多様な学習機会の提供に努めます。
 - ・市は、幅広い分野でのボランティア等の人材を育成し、市民が市民講師として学習成果を地域に還元できる仕組みづくりを行います。
 - ・市は、市民のICTを活用した在宅での学習や、高齢者、障がい者、子育て中の市民などの学習機会の拡大を図るとともに、市民の主体的な学習活動を支援します。
 - ・市は、市民、事業者、関係団体との協働により、生涯学習によるまちづくりを推進します。

Ⅳ 施策・主な事業の体系

◎:主要事業 ※:推進事業

1 計画の策定と推進

(1)「生涯学習プラン2022(仮称)」の策定と推進	◎ ①「生涯学習プラン2022(仮称)」の策定と推進
----------------------------	----------------------------

2 生涯学習の基盤づくり

(1)市民ニーズの把握	①ホームページ、生涯学習情報システム及び各種実施事業の市民アンケート等を活用した市民ニーズの把握
(2)生涯学習情報の提供	※ ①生涯学習情報の提供
(3)在宅相談体制等の充実	※ ①在宅相談体制等の充実
(4)新たな生涯学習の拠点整備	◎ ①新たな生涯学習拠点施設の整備と生涯学習の一層の推進

3 学習機会と場の提供

(1)ICTを活用した生涯学習の推進	①インターネット、CATV等を活用した生涯学習の推進
(2)学校の開放・地域拠点化の推進	◎ ①生涯学習・文化・スポーツの拠点としての地域開放の推進(「第6部-第4 安全で開かれた学校環境の整備」参照)
	※ ②学校・家庭・地域間の情報共有と連携及び地域向け活動の推進(「第6部-第4 安全で開かれた学校環境の整備」参照)
(3)市内大学等との連携	①大学等を活用した生涯学習の推進

4 生涯学習の支援

(1)学習者への支援	①インターネットによる在宅学習の支援
	②保育付講座の充実
	③高齢者・障がい者等への支援
(2)市民の主体的な生涯学習活動の支援	①市民参加による講座の実施
	②自主グループ企画講座への支援

5 生涯学習によるまちづくり

(1)人財の育成及び活用の推進	◎ ①まちづくりに資する人財の育成及び活用の推進
(2)学校・家庭・地域との連携による生涯学習の推進	◎ ①学校・家庭・地域との連携による生涯学習の推進
(3)地域による家庭教育支援体制の充実	※ ①地域SNS家庭教育支援コミュニティサイト「かきしぶ」による家庭教育の支援
(4)NPO・市民団体等との連携	※ ①市民協働センター、住民協議会等との連携

6 三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進

(1)三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進	◎ ①三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進
	※ ②三鷹まちづくり総合研究所事業の推進 (「第8部-第1 コミュニティの展開と協働のまちづくり」参照)
	③三鷹ネットワーク大学推進機構を通じた高度な学びの創出と提供
	④三鷹ネットワーク大学推進機構を通じた民学産公の連携による新技術等の研究・開発や産業の支援・創出
	⑤三鷹ネットワーク大学推進機構を通じた幅広い人財が出会う協働のためのサロン事業等の展開

7 生涯学習推進体制の充実

(1)生涯学習関係機関等との連携	①社会教育会館、図書館、三鷹市芸術文化振興財団等との連携
(2)庁内推進体制の充実	①庁内推進会議の充実と事業連携の推進

V 主要事業

1-(1)-①「生涯学習プラン 2022(仮称)」の策定と推進

「ともに学び、学びを活かし、学びの成果や絆が地域に受け継がれていく心豊かな社会をつくる」ため、「生涯学習プラン 2022(仮称)」を策定し、市民との協働により「学びの循環」や人とのつながりを創出し、もって地域全体が発展して将来にわたって受け継がれていくような生涯学習社会の構築をめざします。

	計画期間(平成34年)の目標	前期				中期(27~30)	後期(31~34)
		23	24	25	26		
「生涯学習プラン 2022(仮称)」の策定と推進	策定、推進	策定	推進				→

2-(4)-① 新たな生涯学習拠点施設の整備と生涯学習の一層の推進

社会教育会館が新川防災公園・多機能複合施設(仮称)に移転されることに伴い、社会教育会館におけるこれまでの活動実績やノウハウ、ネットワークを基礎に、多様な学習機会を提供し、市民の主体的な学習活動についても引き続き支援を行います。新施設での活動を通して市民間の交流を促進するとともに、施設利便性の向上を図り、広く市民の生涯学習に対する意識を高め、生涯学習の一層の推進を図ります。

	計画期間(平成 34 年)の目標	前期				中期(27~30)	後期(31~34)
		23	24	25	26		
新たな生涯学習拠点施設整備と生涯学習の一層の推進	生涯学習の拠点施設として整備	調査・検討				新施設における事業展開	

5-(1)-① まちづくりに資する人財の育成及び活用の推進

生涯学習の機会を通じて得た個人の学習成果を、ボランティアや社会貢献に結び付けることで、地域社会に還元する仕組みをつくります。様々なボランティアや住民協議会、コミュニティ・スクール等地域で活動する人財を養成し、市民参加と協働のまちづくりに資するマンパワーを供給していきます。地域活動に参加する市民が「自らが学び、地域へ還元し、さらに生涯学習の場で学び直す」という「学びの循環」による持続可能な社会の構築をめざしていきます。

	計画期間(平成 34 年)の目標	前期				中期(27~30)	後期(31~34)
		23	24	25	26		
まちづくりに資する人財の育成及び活用の推進	まちづくりに資する人財の育成及び活用の推進	推進					

5-(2)-① 学校・家庭・地域との連携による生涯学習の推進

コミュニティ・スクールの導入により、地域住民の学校運営への参画や学校支援の活動が促進され、地域ぐるみで子どもたちを育む活動が進められています。こうした地域住民の活動・経験を活かし、子どもと大人の交流をより深め、学校地域開放事業など大人の学びの場としての学校の活用を進めるとともに、学校・家庭・地域の連携による一層の生涯学習のまちづくりを推進し、「コミュニティの創生」へとつなげていきます。

	計画期間(平成 34 年)の目標	前期				中期(27~30)	後期(31~34)
		23	24	25	26		
学校・家庭・地域との連携による生涯学習の推進	学校・家庭・地域との連携による生涯学習の推進	推進					

6-(1)-① 三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進

三鷹市と 18 の教育・研究機関が共に運営する三鷹ネットワーク大学推進機構と協働し、大学等の教育・研究機関、企業や NPO 法人等の幅広い団体を含む会員団体との連携を図ります。教育・研究機関や企業等の最先端の知的資源を地域社会で活用し、「教育・学習機能」として市民ニーズと結びつけるとともに、学びを活動に活かす「市民人財」の育成を中心とした運営を支援します。また、新規事業創出や起業家支援を目的とする「研究・開発機能」、専門家と市民を直接結びつけるコミュニケーションの場としての協働サロン事業を中心とした「窓口・ネットワーク機能」を推進し、知的創造空間としての地域社会の醸成をめざします。幅広いネットワークを活かして、三鷹市独自の市職員研修の創出や、「三鷹まちづくり総合研究所」でのシンクタンク機能とも連携を図ります。

	計画期間(平成 34 年)の目標	前期				中期(27~30)	後期(31~34)
		23	24	25	26		
三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進	三鷹ネットワーク大学推進機構との協働の推進	推進					

Ⅵ 推進事業

2-(2)-① 生涯学習情報の提供

生涯学習情報システムの効果的かつ安定的な運用を図り、システムを利用した施設予約や市民等のニーズに合った情報提供を行います。また、生涯学習関連の講座やイベント情報等を取りまとめた生涯学習事業情報を発行するなど、市民への情報提供の充実に努めます。

2-(3)-① 在宅相談体制等の充実

生涯学習に関する相談体制として、窓口相談や電話、ファクス、電子メール等の通信手段を利用した在宅相談を推進します。

5-(3)-① 地域 SNS 家庭教育支援コミュニティサイト「かきしぶ」による家庭教育の支援

核家族化や共働き家庭の増加が進み、小学生やこれから小学校に入学する子どもを持つ保護者等が、家庭教育に関する様々な情報を気軽に入手できる環境の整備が求められています。そこで、地域の人々が主体となって、インターネット上で情報交換ができる場として、地域 SNS(ポキネット)を活用した家庭教育支援コミュニティサイト「かきしぶ」を平成 20 年に開設しました。引き続き、参加者の増加を図られるよう周知に努めるとともに、市民相互の情報交流の一層の促進を図るため、交流会の開催など事業の充実に支援していきます。

5-(4)-① 市民協働センター、住民協議会等との連携

市民協働センターとの事業連携を推進するとともに、住民協議会との連携事業の推進など、地域コミュニティ活動と連携した生涯学習の展開を図ります。

Ⅶ 関連個別計画

- ・生涯学習プラン 2022(仮称)
- ・教育ビジョン 2022(仮称)